

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東北財務局長

【提出日】 平成26年11月13日

【四半期会計期間】 第12期第2四半期(自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)

【会社名】 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

【英訳名】 Human Metabolome Technologies, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 菅野 隆二

【本店の所在の場所】 山形県鶴岡市覚岸寺字水上246番地2

【電話番号】 (0235)-25-1447(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営管理本部長 村上 秀明

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区新川二丁目9番6号シュテルン中央ビル5階

【電話番号】 (03)-3551-2180(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営管理本部長 村上 秀明

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第11期 第2四半期 連結累計期間 | 第12期 第2四半期 連結累計期間 | 第11期 |
|---|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日 | 自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日 | 自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日 |
| 売上高 (千円) | 203,700 | 242,049 | 610,356 |
| 経常利益又は経常損失 () (千円) | 59,431 | 132,462 | 5,962 |
| 当期純利益又は四半期純損失 () (千円) | 60,816 | 135,122 | 1,627 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 59,260 | 134,507 | 3,876 |
| 純資産額 (千円) | 114,405 | 1,447,613 | 1,548,137 |
| 総資産額 (千円) | 363,454 | 1,632,210 | 1,759,329 |
| 1株当たり当期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 () (円) | 15.65 | 25.76 | 0.38 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円) | - | - | 0.34 |
| 自己資本比率 (%) | 31.5 | 88.7 | 88.0 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー (千円) | 14,593 | 53,122 | 29,568 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー (千円) | 6,345 | 86,991 | 39,986 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー (千円) | 16,879 | 11,846 | 1,314,396 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円) | 165,341 | 1,357,701 | 1,509,385 |

| 回次 | 第11期 第2四半期 連結会計期間 | 第12期 第2四半期 連結会計期間 |
|-----------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日 | 自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日 |
| 1株当たり四半期純損失金額 () (円) | 8.63 | 8.57 |

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第11期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、また、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

4. 第12期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

5. 当社は、平成25年10月16日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割を行いました。第11期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額を算定しております。

6. 第12期第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により99,300株の新株発行を行っております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、新たに締結した経営上の重要な契約は以下のとおりであります。

| 契約会社名 | 相手先の名称 | 相手先の所在地 | 契約品目 | 契約締結日 | 契約期間 | 契約内容 |
|-------|---|---------|--------|----------------|--|--|
| 当社 | 独立行政法人国立がん研究センター 公益財団法人がん研究会有明病院 クラシエ製薬株式会社 学校法人東京理科大学 | 日本 | 共同研究契約 | 平成26年 9月11日 | 平成26年 9月11日 から 平成29年 3月31日 | 当社と独立行政法人国立がん研究センター、公益財団法人がん研究会有明病院、クラシエ製薬株式会社、学校法人東京理科大学は、抗がん剤コンパニオン診断バイオマーカー開発に関する共同研究を行う。 |

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間末現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外の景気に対する不透明感は依然として残るものの、経済成長を目指した政府の各種政策により企業収益が改善傾向にあり、雇用情勢に対する明るい展望が期待されるなど緩やかながら回復基調が続いております。

当社が属するライフサイエンス業界においては、遺伝子解析分野での事業提携や買収が行われる等、個別化医療や予防医療の実現に向けた取り組みが活発になっております。また労働安全衛生法の一部改正によるストレスチェック義務化に向け、法人向けのうつ病の早期診断支援サービスが増加する等、メンタルヘルス対策への関心が高まっています。

このような状況の中、当社グループはセミナーやキャンペーンを中心に積極的な販促活動を継続的に展開した他、大うつ病性障害及び肝疾患のバイオマーカー開発を進めるとともに、営業体制強化のための人材育成に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は242,049千円（前年同期比18.8%増）、営業損失は141,616千円（前年同期は82,995千円の営業損失）、経常損失は132,462千円（前年同期は59,431千円の経常損失）、四半期純損失は135,122千円（前年同期は60,816千円の四半期純損失）となりました。

セグメントの状況を示すと、次のとおりであります。

メタボローム解析事業

営業担当者の増員や研究員による支援活動を効果的に活用する等の営業体制強化に取り組んだ他、セミナー等を51回開催し医薬分野での販促に注力しました。この結果、売上高は184,816千円（前年同期比13.0%増）、セグメント利益は62,057千円（前年同期比18.2%減）となりました。

なお、当社グループのメタボローム解析事業は、季節的な要因として多くの顧客の年度末にあたる当社第4四半期連結会計期間に売上高、利益ともに大きくなる傾向にあります。

バイオマーカー事業

大うつ病性障害のバイオマーカー開発においては、体外診断用医薬品開発に向けた開発が概ね計画どおり進捗した他、独立行政法人新エネルギー・産業技術開発機構（NEDO）からの助成金を活用した肝疾患のバイオマーカー開発に取り組みました。この結果、売上高は5,030千円（前年同期比34.1%増）、セグメント損失は36,433千円（前年同期は27,661千円のセグメント損失）となりました。

メタボロミクスキット事業

大学向けにメタボロミクスキットを3システム販売した他、試薬や限外ろ過フィルターの販売が堅調に推移した結果、売上高は27,932千円（前年同期比130.0%増）、セグメント利益は10,401千円（前年同期は2,000千円のセグメント損失）となりました。

人材派遣事業

大学向けに研究者、技術者等を派遣し、売上高は24,270千円（前年同期比0.0%減）、セグメント利益は1,334千円（前年同期比23.8%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,471,768千円となり、前連結会計年度末に比べ184,971千円減少しました。これは、現金及び預金が151,848千円、売掛金が44,943千円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は160,442千円となり、前連結会計年度末に比べ57,853千円増加しました。これは、工具、器具及び備品が70,586千円増加し、有形固定資産の減価償却累計額が25,679千円増加したこと等によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は131,445千円となり、前連結会計年度末に比べ14,509千円減少しました。これは、1年内返済予定の長期借入金が30,000千円減少したものの、その他に含め表示している未払費用が増加したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は53,152千円となり、前連結会計年度末に比べ12,083千円減少しました。これは、長期借入金が8,520千円、リース債務が7,309千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,447,613千円となり、前連結会計年度末に比べ100,524千円減少しました。これは、新株予約権の行使により資本金が17,023千円、資本剰余金が16,959千円増加したものの、四半期純損失135,122千円を計上したこと等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ151,684千円減少し、1,357,701千円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの概況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは53,122千円の支出となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失132,462千円の計上、売上債権の減少45,320千円、減価償却費30,900千円の計上等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは86,991千円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出92,773千円、敷金の回収による収入6,658千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは11,846千円の支出となりました。これは主に長期借入金の返済による支出38,520千円、株式の発行による収入33,795千円等によるものであります。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費は、53,775千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 生産、仕入、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、以下のとおり生産、仕入、受注、受注残及び販売の実績が著しく増加しております。

メタボローム解析事業

受注残は、177,455千円となり、前連結会計年度末に比べ124,938千円増加(237.9%増)しました。これは、当事業の特性上、売上高の計上が下期にかけて増加し、上期中は受注残高が増加するためであります。

メタボロミクスキット事業

生産高7,731千円、仕入11,220千円となり、前年同四半期と比べ著しく増加しました。これは大学向けにメタボロミクスキットや限外ろ過フィルターの販売が増加したためであります。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しに重要な変更事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 12,000,000 |
| 計 | 12,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日) | 提出日現在 発行数(株) (平成26年11月13日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|----------------------------------|------------------------------------|--|
| 普通株式 | 5,272,300 | 5,287,300 | 東京証券取引所 (マザーズ市場) | 完全議決権株式であり、株主としての権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。単元株式数は100株であります。 |
| 計 | 5,272,300 | 5,287,300 | | |

(注) 提出日現在発行数には、平成26年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|----------------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成26年7月1日～ 平成26年9月30日 (注)1 | 18,600 | 5,272,300 | 6,203 | 1,233,431 | 6,203 | 1,222,147 |

(注)1. 新株予約権の行使による増加であります。

2. 平成26年10月1日から平成26年10月31日までの間に、新株予約権の行使により、発行済株式総数が15,000株、資本金及び資本準備金がそれぞれ5百万円増加しております。

(6) 【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|-------------------------------|-----------------------------|--------------|------------------------------------|
| 大阪ライフサイエンス投資事業有限責任組合 | 東京都中央区日本橋3-2-9 三昌ビル4階 | 409,500 | 7.76 |
| 富田 勝 | 東京都港区 | 390,000 | 7.39 |
| サミット・バイオテクノロジー・ ジャパン投資事業組合 | 東京都中央区日本橋3-2-9 三昌ビル4階 | 266,500 | 5.05 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式 会社(信託口) | 東京都港区浜松町2-11-3 | 244,500 | 4.63 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口) | 東京都中央区晴海1-8-11 | 211,500 | 4.01 |
| 曾我 朋義 | 山形県鶴岡市 | 210,000 | 3.98 |
| 東北インキュベーション投資事業有 限責任組合 | 宮城県仙台市青葉区本町1-1-1 アジュール仙台 | 195,000 | 3.69 |
| 西岡 孝明 | 奈良県生駒市 | 150,000 | 2.84 |
| 東北グロース投資事業有限責任組合 | 宮城県仙台市青葉区本町1-1-1 アジュール仙台 | 135,000 | 2.56 |
| TICC大学連携投資事業有限責任組合 | 宮城県仙台市青葉区本町1-1-1 アジュール仙台 | 90,000 | 1.70 |
| 計 | | 2,302,000 | 43.61 |

(注)1. 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 244,500株

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 211,500株

2. JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社から平成26年7月22日付で関東財務局に提出された大量保有報告書により平成26年7月15日現在で以下の株式を所有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、大量保有報告書の内容は以下のとおりであります。

| 氏名又は名称 | 住所 | 保有株券等の数 (株) | 株券等保有割合 (%) |
|----------------------------|-----------------|----------------|----------------|
| JPモルガン・アセット・ マネジメント株式会社 | 東京都千代田区丸の内2-7-3 | 413,600 | 7.88 |

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-------------------|----------|--|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 5,271,000 | 52,710 | 完全議決権株式であり、株主としての権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。単元株式数は100株であります。 |
| 単元未満株式 | 普通株式 1,300 | | |
| 発行済株式総数 | 5,272,300 | | |
| 総株主の議決権 | | 52,710 | |

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|----------------|--------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| | | | | | |
| 計 | | | | | |

2 【役員】の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出後、当四半期累計期間において、役員の変動はありません。

役職の変動

| 新役名及び職名 | 旧役名及び職名 | 氏名 | 異動年月日 |
|------------|----------|-------|-----------|
| 取締役経営管理本部長 | 取締役管理本部長 | 村上 秀明 | 平成26年7月1日 |

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年 3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年 9月30日) |
|---------------|--------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 909,366 | 757,517 |
| 売掛金 | 122,259 | 77,315 |
| 有価証券 | 600,019 | 600,183 |
| 商品 | 476 | 4,216 |
| 仕掛品 | 65 | 2,391 |
| 原材料及び貯蔵品 | 9,250 | 5,919 |
| その他 | 15,428 | 24,231 |
| 貸倒引当金 | 126 | 7 |
| 流動資産合計 | 1,656,739 | 1,471,768 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 14,990 | 17,688 |
| 工具、器具及び備品 | 148,525 | 219,112 |
| リース資産 | 90,986 | 108,061 |
| 減価償却累計額 | 170,358 | 196,038 |
| 有形固定資産合計 | 84,144 | 148,823 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 6,602 | 6,002 |
| 固定資産合計 | 11,842 | 5,615 |
| 固定資産合計 | 102,589 | 160,442 |
| 資産合計 | 1,759,329 | 1,632,210 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 4 | 5 |
| 短期借入金 | 20,000 | 20,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 47,040 | 17,040 |
| リース債務 | 14,337 | 14,524 |
| 未払法人税等 | 9,622 | 3,993 |
| その他 | 54,951 | 75,882 |
| 流動負債合計 | 145,955 | 131,445 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 31,460 | 22,940 |
| リース債務 | 23,243 | 15,933 |
| 繰延税金負債 | 608 | 1,304 |
| 資産除去債務 | 9,518 | 11,725 |
| その他 | 404 | 1,247 |
| 固定負債合計 | 65,235 | 53,152 |
| 負債合計 | 211,191 | 184,597 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,216,407 | 1,233,431 |
| 資本剰余金 | 1,205,188 | 1,222,147 |
| 利益剰余金 | 880,475 | 1,015,598 |
| 株主資本合計 | 1,541,120 | 1,439,980 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 7,017 | 7,632 |
| その他の包括利益累計額合計 | 7,017 | 7,632 |
| 純資産合計 | 1,548,137 | 1,447,613 |
| 負債純資産合計 | 1,759,329 | 1,632,210 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|--------------------|---|---|
| 売上高 | 203,700 | 242,049 |
| 売上原価 | 88,261 | 107,151 |
| 売上総利益 | 115,438 | 134,898 |
| 販売費及び一般管理費 | 1 198,434 | 1 276,514 |
| 営業損失() | 82,995 | 141,616 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 16 | 371 |
| 補助金収入 | 25,766 | 1,259 |
| 移転補償金 | - | 8,471 |
| その他 | 190 | 236 |
| 営業外収益合計 | 25,973 | 10,338 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,512 | 909 |
| その他 | 895 | 273 |
| 営業外費用合計 | 2,408 | 1,183 |
| 経常損失() | 59,431 | 132,462 |
| 税金等調整前四半期純損失() | 59,431 | 132,462 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,484 | 1,964 |
| 法人税等調整額 | 99 | 695 |
| 法人税等合計 | 1,385 | 2,659 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失() | 60,816 | 135,122 |
| 四半期純損失() | 60,816 | 135,122 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|--------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失() | 60,816 | 135,122 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | 1,556 | 614 |
| その他の包括利益合計 | 1,556 | 614 |
| 四半期包括利益 | 59,260 | 134,507 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 59,260 | 134,507 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失() | 59,431 | 132,462 |
| 減価償却費 | 17,576 | 30,900 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 139 | 119 |
| 受取利息及び受取配当金 | 16 | 371 |
| 支払利息 | 1,512 | 909 |
| 補助金収入 | 25,766 | 1,259 |
| 移転補償金 | - | 8,471 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 25,088 | 45,320 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 7,107 | 2,735 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 420 | 1 |
| 前払費用の増減額(は増加) | 4,124 | 11,024 |
| 前受収益の増減額(は減少) | 456 | 10,577 |
| 前受金の増減額(は減少) | 18,693 | 11,016 |
| 未払金の増減額(は減少) | 4,838 | 2,256 |
| 未払費用の増減額(は減少) | 7,881 | 11,789 |
| 未払消費税等の増減額(は減少) | 4,841 | 9,644 |
| 預り金の増減額(は減少) | 2,973 | 95 |
| その他 | 1,182 | 1,789 |
| 小計 | 36,424 | 59,523 |
| 利息及び配当金の受取額 | 16 | 371 |
| 利息の支払額 | 1,746 | 868 |
| 補助金の受取額 | 25,766 | 2,910 |
| 補助金の返還額 | 49 | 54 |
| 移転補償金の受取額 | - | 9,350 |
| 法人税等の支払額 | 2,157 | 5,308 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 14,593 | 53,122 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 3,479 | 92,773 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 3,027 | 600 |
| 敷金の差入による支出 | - | 276 |
| 敷金の回収による収入 | 161 | 6,658 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 6,345 | 86,991 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 20,000 | 20,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | 60,000 | 20,000 |
| 長期借入れによる収入 | 40,000 | - |
| 長期借入金の返済による支出 | 9,940 | 38,520 |
| 株式の発行による収入 | - | 33,795 |
| リース債務の返済による支出 | 6,939 | 7,122 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 16,879 | 11,846 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 991 | 275 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 36,827 | 151,684 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 202,168 | 1,509,385 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 165,341 | 1,357,701 |

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) |
|------|---|---|
| 給与手当 | 48,585千円 | 62,375千円 |

- 2 売上高の季節的変動

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

当社グループの主要な事業であるメタボローム解析事業は、季節的な要因として多くの顧客の年度末にあたる当社第4四半期連結会計期間に売上高、利益ともに大きくなる傾向にあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) |
|-----------|---|---|
| 現金及び預金 | 165,341千円 | 757,517千円 |
| 有価証券 | -千円 | 600,183千円 |
| 現金及び現金同等物 | 165,341千円 | 1,357,701千円 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | |
|-----------------------|----------------|---------------|------------------|--------|---------|
| | メタボローム 解析事業 | バイオマーカ- 事業 | メタボロミクス キット事業 | 人材派遣事業 | 計 |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 163,525 | 3,750 | 12,145 | 24,279 | 203,700 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | | | | | |
| 計 | 163,525 | 3,750 | 12,145 | 24,279 | 203,700 |
| セグメント利益又は損失 () | 75,821 | 27,661 | 2,000 | 1,750 | 47,910 |

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|---------------------|---------|
| 報告セグメント計 | 47,910 |
| 全社費用(注) | 130,906 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失 () | 82,995 |

(注) セグメント利益の全社費用 130,906千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | |
|-----------------------|----------------|---------------|------------------|--------|---------|
| | メタボローム 解析事業 | バイオマーカー 事業 | メタボロミクス キット事業 | 人材派遣事業 | 計 |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 184,816 | 5,030 | 27,932 | 24,270 | 242,049 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 269 | | 128 | | 397 |
| 計 | 185,086 | 5,030 | 28,060 | 24,270 | 242,447 |
| セグメント利益又は損失 () | 62,057 | 36,433 | 10,401 | 1,334 | 37,359 |

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 売上 | 金額 |
|---------------|---------|
| 報告セグメント計 | 242,447 |
| セグメント間取引消去 | 397 |
| 四半期連結財務諸表の売上高 | 242,049 |

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|---------------------|---------|
| 報告セグメント計 | 37,359 |
| セグメント間取引消去 | 4 |
| 全社費用(注) | 178,981 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失 () | 141,616 |

(注) セグメント利益の全社費用 178,981千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

(金融商品関係)

当第2四半期連結貸借対照表計上額と時価との差額及び前連結会計年度に係る連結貸借対照表計上額と時価との差額に重要性が乏しいため、記載を省略しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|---|---|---|
| 1株当たり四半期純損失金額() | 15円65銭 | 25円76銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純損失金額()(千円) | 60,816 | 135,122 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る四半期純損失金額()(千円) | 60,816 | 135,122 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 3,885,000 | 5,244,839 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | | |

- (注) 1. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、また、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
2. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
3. 当社は、平成25年10月16日付で株式1株につき300株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純損失金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月12日

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 片岡久依印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 勢志元印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。